

特集 6 月は環境月間です



環境にやさしい暮らしを

～活動は身近なところから～

今、わたしたちの周辺では、地球温暖化、大気・水・土壌環境、廃棄物・リサイクルなどの物質循環、化学物質の問題、自然環境の保全といったさまざまな環境問題がおきています。

6 月は「環境月間」です。この機会に自分たちにできることから環境問題に取り組んでみませんか。

問合せ 環境対策課・内線3421

緑のカーテンで暑さ対策をしましょう

地球温暖化防止対策のひとつとして、ツル性植物のゴーヤやひょうたんなどで窓面を覆い、植物による蒸散・遮光効果で室内や周辺の温度を下げるができます。

効果

- ・冷房の使用を抑え、二酸化炭素の排出抑制に効果があります。
- ・自宅等で手軽な緑化が楽しめます。
- ・ちょうや虫が訪れる環境が生まれます。
- ・ゴーヤやひょうたんなどの収穫が楽しめます。

※公共施設等でも実践しています

小・中学校 8 校、
保育所・園 8 カ所、
きじばと作業所 3 カ所、
里土地区画整理事務所、環境センター、
郷土資料館里仮収蔵庫、サンスポーツセンター、市役所庁舎（計24カ所）



市庁舎の緑のカーテン（昨年）

生活スタイルを見直しましょう

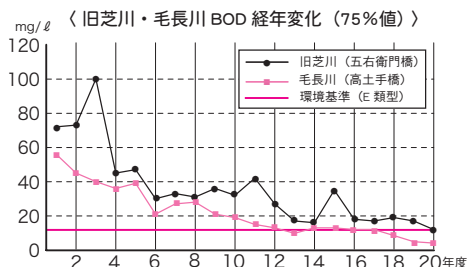
「エコライフDAY（環境家計簿）」は、チェックシートの内容を実行し、地球温暖化の原因である二酸化炭素を減らす活動です。また、環境に良い生活に活かすことができます。

- ・用紙と回収箱は、市役所総合案内、各公民館、福祉センター、市民センターに設置します。
- ・市ホームページからも参加できます。
- ・自治会・団体・企業での参加もできますので、環境対策課・内線3421までお問い合わせください。

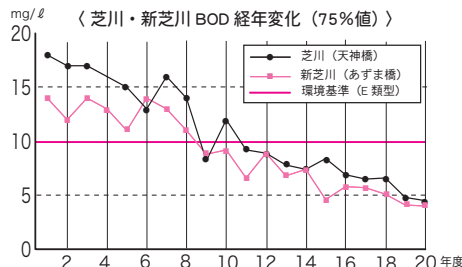
実施期間 夏＝6月1日（月）～7月31日（金）
の間の1日間、冬＝12月1日（火）
～28日（月）の間の1日間

効果

昨年、5,591人の皆さんの活動結果により、約4,090kgの二酸化炭素を減らすことができました。これは、約292本の杉の木が、1年間で吸収する量と同じ量の二酸化炭素を削減したことになります。（50年生の杉、人工林の場合）



旧芝川・毛長川は、改善が遅れていましたが、徐々に改善の傾向が現れています。



芝川・新芝川は、水質の改善が進み11年度以降、上流・下流の調査地点において、ともに環境基準を達成しています。

市内には、芝川、新芝川、毛長川、見沼代用水といった、川や水路があります。それぞれの水質調査結果（BOD）は、次のようになっています。
※BODとは水の汚れを示す指標で、大きい数値ほど汚れています。

市内の川の水質は？

環境市民会議に参加しませんか？

市では、「市民生活における環境問題」について、昨年に続き「環境市民会議」を開催し、環境に関する皆さんの意見や考えを伺います。

環境市民会議の参加者が、自主的・自発的にテーマについて話し合います。あなたの意見を環境施策・活動に活かしてみませんか。

※具体的なテーマや内容は、参加する皆さんで決めていきます。

会議の回数 7月から11月までに7回程度を予定（会議は平日の昼間、2回目以降は、参加者で日程調整を行います）

応募資格 ボランティアで参加いただける18歳以上の市内在住・在勤・在学者、5人程度（会議のメンバーは、市からの推薦者を含め10人程度になります）

応募方法 6月15日（月）までに市役所2階環境対策課宛に、応募用紙を持参もしくは郵送、FAX、電子メールで。

※応募用紙は、環境対策課窓口、市ホームページから取得できます。

選考結果 6月末日までに、応募者全員に通知します。

昨年の報告

昨年は、第1回環境市民会議として7回の会議を開催し、「緑でつながる街づくり」をテーマとして緑化に関する報告書が市に提出されました。提案された報告書の内容の実現に向けて、会議参加者と市が協働しながら講習会の開催等の活動を進めています。※この報告書は、環境対策課窓口で配布しています。また、市ホームページでもご覧いただけます。



昨年の会議の様子

エコバッグを使いましょう

買い物をするときに、何気なくもらってしまうレジ袋ですが、「レジ袋はいりません」と言うだけでごみの減量化をすすめることができます。市では、レジ袋削減運動を進めています。



市レジ袋削減
キャンペーンマスコット

効果

私たち1人が1年間で、300枚は使っているといわれているレジ袋。鳩ヶ谷市だけでも年間約180トンになります。この数字は、1年間で市が回収するペットボトルと同じくらいになります。

このレジ袋を減らすことにより、ごみの減量につながり、ごみの焼却で発生する二酸化炭素削減効果は約838トンになります。

また、貴重な石油資源の節約にもつながります。



エコ宣言をしましょう

このエコ宣言は、どなたでも、気軽に取り組むことができる内容です。日常生活の中で、地球にやさしい生活を心がけ、積極的に取り組みませんか。

「エコ宣言」内容

- ・買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋は断ります。
- ・ごみの分別に取り組み、地域の資源回収に協力します。
- ・エコ商品やリサイクル品を使い、地域で作った食材を買います。
- ・食事は残さず食べて、生ごみを減らします。
- ・エネルギーの削減につとめます。

「エコ宣言」の受付

日時 6月30日（火）まで（土、日、祝日を除く）、午前8時30分～午後5時

場所 市役所2階環境対策課および廃棄物対策課（環境センター）

※市オリジナルエコバッグを差し上げます。（数に限りがあるため、なくなり次第終了します）



旧芝川

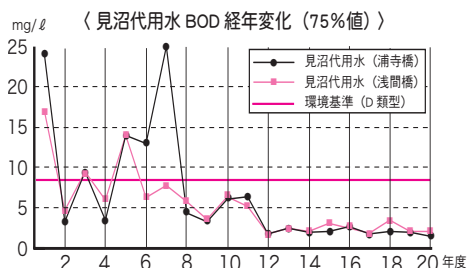
川の環境改善への取り組み

20年度から、県により河川工事など水辺再生事業が行われ、流域自治会が河川パトロールや、廃食油を回収する活動を行っています。南小学校、中居小学校の児童が水質や生き物調査を行い、結果を市の環境活動パネル展で発表しました。

見沼代用水

流域9自治会が「鳩ヶ谷市見沼代用水の自然を守る会」として力を合わせ、年1回川底や周辺のごみ清掃を行っています。

また、県農林総合研究センター水産研究所の最近の調査では、ドジョウ、メダカ、など21種の魚種が確認されています。きれいな河川を守るため、ご協力をお願いします。



見沼代用水は、流域の大部分で下水道整備が進み、生活排水が流入しなくなったため、水質の改善が進みました。